

## 新たな総合5か年計画策定に向けた意見交換会実施状況

## 若者との意見交換会

信州大学の学生の皆さんとの意見交換会

日時：平成23年8月5日（金） 9時30分～12時30分

参加者：信州大学経済学部の学生9名

委員参加者：上原貴夫専門委員、武者忠彦専門委員

テーマ：私が望む将来の長野県

提案内容：

- 1班...地域の資源を活かした「ひとつひとつのムラが輝く長野県」
- 2班...節約志向、環境志向、健康志向に対応する「歩いて暮らせる信州」
- 3班...過疎化も考え方を換えれば資源になる！「ピンチをチャンスに変える戦略」

「三四六と語ろう10年後の長野県」(長野会場)での意見聴取

日時：平成23年10月2日（日）13時30分～16時00分

参加者：県内の高校生27名

委員参加者：松岡英子委員

テーマ：10年後の長野県

主な意見：県のことを知れば誇りが持てるので、学校でもっと県のことを教えて欲しい。

：自然が多い長野県が好きだが、働く場が少ない。

長野大学の学生の皆さんとの意見交換会

日時：平成23年10月7日（金） 16時00分～17時30分

参加者：長野大学環境ツーリズム学部の学生9名

テーマ：私が望む将来の長野県

提案内容：

- 1班...若者の雇用の場を増やす
- 2班...古い町並みの保存と人の生活のやすさのバランスのとれた町づくり
- 3班...人がにぎわい、人と交流できる街

「三四六と語ろう10年後の長野県」(松本会場)での意見聴取

日時：平成23年10月15日（土）13時30分～16時00分

参加者：県内の高校生40名

委員参加者：金早雪委員

テーマ：10年後の長野県

主な意見：10年後は更に高齢者が増えるので、福祉施設を充実するなどして福祉分野で長野県を活性化させたい。

：地域に元気がないのは若者が地域に参加していないから。若者が行事を企画するなどして地域を盛り上げていきたい。

### 松本大学の学生の皆さんとの意見交換会

日 時：平成23年10月21日（金） 13時30分～15時30分

参加者：松本大学総合経営学部の学生17名

委員参加者：青山佳世委員、上原貴夫専門委員

テーマ：私が望む将来の長野県

提案内容：

- 1班...最先端のアナログ都市 自然環境に対して100歩先を行く長野県
- 2班...長野に雇用 農業・福祉等を活用して長野県を好きになってもらうために
- 3班...心の豊かさあふれる観光立県の実現

### 地域・市町村との意見交換会

市町村等交流職員との意見交換会

日 時：平成23年10月11日（火） 14時30分～17時00分

参加者：市町村等から県に派遣されている交流職員16名

テーマ：私が望む将来の長野県

提案内容

- 1班...人の定着には、生活の糧である雇用の場が必要
- 2班...市町村間の事務の広域化を基礎として分野横断的な取組が必要
- 3班...高齢化は止められない 高齢者の潜在的な力の活用
- 4班...長野県で活躍する人材の育成が重要

### 県外関係

首都圏にお住まいで新たに長野県で就農を考えている皆さんからの意見聴取

日 時：平成23年10月8日（土） 19時00分～20時00分

参加者：首都圏にお住まいで長野県での就農を考えている方12名

テーマ：長野県のイメージ、将来こんな長野県になって欲しい、こんなことに取り組みばいい

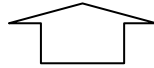
主な意見：首都圏からの近さに安心感がある。

：農業参入に対する障壁がもっと小さくなればいい。

：農産物のブランド化とPRの強化

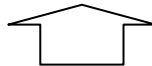
目指す姿(キャッチフレーズ)

ひとつひとつのムラが輝く長野県



取組・方策

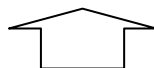
- 1 長野県ならではの・・・
  - (1) “ 見せる観光 ” から “ 体験する観光 ” へ
    - ・農村を生かしたツーリズム
    - ・地産地消ツーリズム
    - ・直売所めぐり、食べ歩きコース
    - ・イベントの日程をずらす(周遊観光を可能に)
  - (2) Iターン・Uターンの促進
    - ・県主導の移住サイトの開設
    - ・あまり知られていない中小企業の存在(魅力)を周知
    - ・高齢者が若者に技術を伝えるシステムづくり
- 2 過疎化、限界集落対策
  - ・地域公共交通の維持による買い物弱者対策
  - ・市民運営のコミュニティバス
  - ・移動販売の推進
  - ・地域の拠点になる(いつでも来れる)雑貨屋づくり
  - ・地域内分権、コンパクトシティ
- 3 防災のシステムづくり
  - ・地区単位での防災・避難体制



(長野内 県の要 因特 性)	<p><b>強み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素朴な農村風景</li> <li>・自然や文化が観光資源になっている</li> <li>・Iターン・Uターン者から人気がある</li> <li>・農産物の物価が安い</li> <li>・直売所が身近にある</li> <li>・平均寿命が高い</li> <li>・高齢者の就業率が高い</li> <li>・市民活動に積極的な高齢者</li> <li>・地域間のつながりが強い</li> <li>・市民活動が充実している</li> <li>・住民が地域に積極的に関わろうとしている</li> </ul>	<p><b>弱み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の面積が広い</li> <li>・広域故の観光のしにくさ</li> <li>・郊外に観光客を呼べるほどの資源がない</li> <li>・観光やレジャーに依存</li> <li>・文化の違い(多様性)</li> <li>・交通の便の格差</li> <li>・ガソリン等の価格が高い</li> <li>・転出率の高さ</li> <li>・セーフティネットとして機能していない雑貨屋</li> </ul>
	<p>(社会 状況等 )</p> <p><b>機会(チャンス・プラス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化</li> <li>・コミュニティ意識の高まり</li> <li>・NPO、コミュニティビジネスなどへの注目</li> <li>・田舎志向、自然志向の高まり</li> <li>・健康志向の高まり</li> <li>・地方分権</li> </ul>	<p><b>脅威(リスク・マイナス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化</li> <li>・グローバル化</li> <li>・デフレ</li> <li>・雇用問題</li> <li>・観光業の衰退</li> <li>・医師不足</li> <li>・牛伏寺断層</li> <li>・他県との競合の激化</li> </ul>

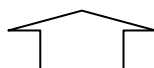
目指す姿(キャッチフレーズ)

歩いて暮らせる信州 人間と環境の関係を見つめ直す



取組・方策

- 1 節約型・環境配慮(エコ)・健康志向の観光客を呼ぶ取組
  - ・トレッキングなど、エコツーリズムができる取組を強化する(遊歩道の整備)
  - ・自転車を活用するなど、健康に特化した取組を増やす
  - ・クリーンエネルギーを使ったスタンドを増やす
  - ・県内の温泉地めぐりを企画する
  - ・食品のブランド化により安全のイメージを作っていく
  - ・公共交通機関を充実させる(バスの利用を増やすためにバスのダイヤ改正を行う)
  - ・海外の映画・ドラマロケを受け入れ、外国人観光客を取り込む
- 2 P Rの強化
  - ・観光資源の認知度を上げる
  - ・戦国武将や城に焦点を当てたイベントなどを開催する
  - ・温泉地をP Rすることで高齢者を誘致する
  - ・田舎暮らしの良さを高齢者へ向けてP Rする
- 3 高齢者にとって住みやすいまちづくり
  - ・生活のためのバリアフリーな歩道環境の整備
  - ・商店街までの交通を整備(送迎バスなど)
  - ・買物サービスを充実させる(宅配、出張販売)
  - ・ローカル線を利用して商店街まで買物に出かけた人へのサービス(割引、ポイント、オプション)
  - ・高齢者の地域や技術を生かした活動により、観光客を取り込む



(長野県的 的要因 特性)	<p><b>強み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の中心に位置する</li> <li>・都心からアクセスしやすい</li> <li>・温泉が出る地域が多い</li> <li>・諏訪湖や木崎湖など湖が多い</li> <li>・りんごに特化したイメージづくりを行っている(飯綱町)</li> <li>・茅野市の寒天生産量日本一</li> <li>・映画ロケ地としてP Rする取組</li> <li>・自転車への配慮(自転車ゾーンの設置)がされている</li> </ul>	<p><b>弱み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にやさしくない</li> <li>・歩道の整備環境が悪い、夜道が暗い</li> <li>・「豊かな自然」を県民が重視していない</li> <li>・観光のP R不足</li> <li>・若者向けの観光スポットの少なさ</li> <li>・教育県のイメージと現実がかけ離れている</li> <li>・買物施設が遠い</li> <li>・県内での移動手段が少なさ</li> <li>・バスが時間どおり来ない</li> <li>・ローカル線の需要の低さ</li> <li>・西日本・北陸へのアクセスが悪い</li> <li>・リニア中央新幹線(沿線部への集中)</li> </ul>
(社会的 状況等 要因)	<p><b>機会(チャンス・プラス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアからの外国人観光客の増加</li> <li>・節電・省エネ志向、環境意識の高まり</li> <li>・お金をかけない節約型レジャー志向</li> <li>・健康長寿志向</li> <li>・神話や戦国時代などの歴史ブーム</li> <li>・食料品の安全性が求められる</li> <li>・生活必需品の買物は近所で済みます</li> </ul>	<p><b>脅威(リスク・マイナス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化</li> <li>・商店街の衰退</li> <li>・買物難民の出現</li> <li>・円高による、諏訪市の精密機械等輸出産業の衰退</li> <li>・求人が少ない</li> <li>・原子力発電所</li> <li>・放射能汚染</li> </ul>

目指す姿(キャッチフレーズ)

過疎化は資源だ！ ピンチをチャンスに変える戦略

取組・方策

- 1 【弱みと脅威】ピンチを魅力に
  - (1) ~ 利用者の少ない松本空港 ~
    - ・国内よりむしろ国外での「長野」ブランド確立を目指す
    - ・高付加価値の地域ブランドを作ること空輸コストを減らす
    - ・物流に特化し、物流効率化を目指す
  - (2) ~ 高齢化・農業離れ ~
    - ・農業大学を設置
    - ・衰退が進む商店街を活用して魚の市場ならぬ野菜の市場を設置
    - ・空き家や担い手不足の農家を活用した田舎暮らし体験
    - ・小学生等に農業に対する興味を持ってもらうよう、高齢者が指導者となり農業体験
  - (3) ~ その他のピンチを逆手にとって ~
    - ・1つの中心的ブランド農産物をつくり、県内どこをまわっても楽しいブランド県をつくる
    - ・温泉など休憩施設を併用したアウトレットモールの開設
    - ・外国人観光客に、長野県の特産品の生産に携わってもらうことで、海外への知名度を高める
    - ・地元料理・特産品を活用した宿泊で観光客を集める
    - ・文化財だけでなく、小さな博物館などにも興味を持ってもらうよう外国人客にPR
- 2 【強み】魅力の再活用 ~ 自然 ~
  - ・土地や環境を活かした多用なスポーツ産業の誘致
  - ・スキー場に太陽光パネルを設置して発電、地熱発電を利用した宿泊施設のPR

(長野県的 要因 特性)	<b>強み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の豊富さ(温泉、博物館、花火)</li> <li>・避暑地が多い</li> <li>・首都圏からわりと近い</li> <li>・農村の景観がいい</li> <li>・H20までは有効求人倍率が全国平均以上</li> <li>・ギターの生産(1位)</li> <li>・健康長寿県、高齢者就業率(1位)</li> <li>・直売所が多い。JAとの協力が強い</li> <li>・総農家数、農家民家数(1位)</li> <li>・自然エネルギー源(太陽光・地熱等)、日照量</li> </ul>	<b>弱み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本空港の利用状況(利用者が少ない)</li> <li>・外からアクセスしにくい、電車の接続が悪い</li> <li>・バリアフリーが未浸透(道路の整備状況など)</li> <li>・電灯が少ない</li> <li>・特産物の知名度あまり高くない</li> <li>・農業生産力低下、有名な農作物がない</li> <li>・後継者、担い手不足</li> <li>・転出者が多い(定住する上で魅力薄い)</li> <li>・他県と比較したときに飛びぬけたものがない</li> <li>・市が大きすぎる</li> <li>・4年制大学への進学率低い(30位)</li> </ul>
(社会的 要因 等)	<b>機会(チャンス・プラス要因)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康志向の高まり</li> <li>・田舎暮らしの興味増大。自然志向</li> <li>・地産地消</li> <li>・地域の農産物のブランド化</li> <li>・世の中が節電傾向にある</li> <li>・ロケが多い</li> <li>・歴女などに代表される、歴史への興味</li> <li>・外国人観光客の集客</li> <li>・教育への興味、関心の増大</li> <li>・福祉サービスの充実</li> </ul>	<b>脅威(リスク・マイナス要因)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震(牛伏寺断層など)</li> <li>・気候の変化の差はげしい</li> <li>・グローバル化</li> <li>・労働の多様化(時間や業種)</li> <li>・少子高齢化、地方における人口減少(空き家の増加・限界集落の増加)</li> <li>・首都圏における待機児童の増加</li> <li>・節約志向</li> <li>・円高の進行による輸出の低迷、産業の空洞化</li> <li>・公共事業減少による経済全体への影響</li> <li>・スキー産業の低迷</li> <li>・大型店の台頭</li> </ul>

## 現状・課題等

- ・ 地元就職口がない。
- ・ 県内の移動が不便（車がないと移動できない。）
- ・ 道路を整備して欲しい。
- ・ バスの便が不便
- ・ 商店街が寂しい。

## 目指すべき方向

### 若者の雇用の場を増やす

## 目指す姿を実現するための取組・方策

- 1 雇用の受け皿としての観光産業の振興 宿泊者を増やすための対策を  
(1)長野の強みを活かす
  - ・ 名物などの食品のブランド化の強化
  - ・ 宿泊施設や道の駅での地場特産物の提供
  - ・ 山岳観光客向けの対策の推進  
(初心者向けの山登りツアー(講座)、案内人の養成、山小屋の整備)
- (2)積極的なPR
  - ・ 長野県の農作物を売り出す。
  - ・ 長野県でしか食べられない独特な食文化をアピール
  - ・ 長野の温泉のアピール
  - ・ 都会への積極的なキャンペーンの展開  
(割引制度の導入、観光地間の移動を容易にするなど)
- 2 若者の力が発揮できるように
  - ・ 商店街の空き店舗を利用した起業支援
  - ・ 起業したい人への支援(講座の開設、資金面の援助)
- 3 生活、経済の基盤としての道路交通
  - ・ 道路の整備
  - ・ 利便性のよい公共交通
- 4 その他
  - ・ 失業対策などの福祉の充実

## キャッチフレーズ

人に優しく、町に優しく、目にも優しい長野県  
ブルーベリーが1位だよ

## 現状・課題・強み・弱み等

- ・世界的不況
- ・周りに就職が決まっていない人が多い。
- ・就職できるか心配
- ・公共交通が不便
- ・バスがどこを走っているかわからない。
- ・街灯が少なく夜道が怖い。
  
- ・町並み保存に関して、このままで良い（観光地化反対）という人も多い。
  
- ・名物が何かわからない。
- ・名所（善光寺、松本城など）の観光ルートがわからない。
- ・観光地が離れて点在している。
- ・若い人が遊ぶ場所が少ない。
- ・ブルーベリーの生産量が全国1位
- ・自然がたくさんある。

## 目指す姿(こうなって欲しい。こんなことをすればいい。)

- 1 生活～人に優しい長野県
  - ・住みやすい町
  - ・若い人が暮らしやすい県
  - ・もう少し都会になって欲しい。
  - ・目的地に行きやすい交通網の整備
  - ・電車網の整備
- 2 まちづくり～都会的な町がある、でも、懐かしいと思える町がある
  - ・昔ながらの町並みが復活すればいい。
  - ・古い建物を保存すべき
  - ・もう少し都会になって欲しい。
  - ・近代的なところと歴史的なところのバランスの取れた町づくりを行う。
  - ・住民の町並み保存に対する意識が高い「金沢」を見習うべき。
  - ・地域的な観光地化を図る。
  - ・観光地のまわりの環境（景観）を整備する。
- 3 観光・名産～長野はコレだ！
  - ・名産をもっとアピールすべき。
  - ・せっかく1位のブルーベリーをアピールしよう！
  - ・中心街近くに温泉宿があればいい。
  - ・テーマパークが欲しい。

## 目指す姿

人がにぎわい、人と交流できる街

## 現状・課題・強み・弱み等

- 1 農林業
  - ・遊休荒廃地が多い。有機農業者が少ない。
  - ・長野県産木材の活用が不十分
- 2 商店街
  - ・商店街に活気が無い。(開放的でない、若者が少ないなど)
  - ・シャッターを下ろしている商店が多い。
- 3 交通
  - ・松本空港が十分に活用されていない。
  - ・外国人観光客向けの環境が整備されていない。

## 目指す姿を実現するための取組・方策

- 1 農林業
  - 地元の農産物を売る店を増やす。
  - 有機農業者を増やす取組
  - 長野県の木材を地元の人が簡単に利用できる取組
  - ・都会の農業をやりたい人が簡単に農業ができる仕組みづくり
  - ・地元の野菜を積極的に仕入れてくれる店を増やしたい。
  - ・温暖化が進行してもゆらがない農業政策(20年、30年後を視野に入れる。)
  - ・有機農家が安心して農業ができる県
  - ・生ごみを有機肥料にかえ、安価に売れる仕組みづくり
  - ・間伐材を県内にもっと普及させる。県内でつくる家は県内の木でつくる仕組みづくり
  - ・震災後でも食の安全が確保された街になって欲しい。
- 2 商店街他
  - 無料ライブ会場や無料で利用できる公園、運動場を設置し、商店街に若者向けのセレクトショップ、安いカフェをつくり、そこで休憩したり、ショッピングを楽しんでもらう。
  - ・若者に楽しんでもらうために娯楽施設を増やす。
  - ・商店街だからこそ売れるものをつくる。(学生がつくったもの、伝統野菜等)
  - ・小物ショップが欲しい。商品の値段を安くして欲しい。
  - ・大きなデパートに若者向けのセレクトショップ、服屋を入れる。
- 3 交通
  - 空港の利用促進
  - 交通の利便性の向上
  - 外国人の訪れやすい街づくり
  - ・各市町村に道の駅を設置(自然を壊さないことが大前提)
  - ・外国向けに長野県の食材を売る。(外国向けの看板設置)
  - ・サッカー等スポーツを用いた松本空港の活用
  - ・アウトドアブームに乗った観光促進



## 現状・課題等

人口減少により様々な影響が生じている

- ・高齢者の介護
- ・地域公共交通（バス路線の廃止等）
- ・街中に若者が集まりにくい。
- ・消防団、自治会の担い手不足

## 目指すべき方向

人の定着には、生活の糧である雇用の場が必要

## 目指す姿を実現するための取組・方策

- 1 需要増が見込まれる産業の集積を生み出す
  - (1)医療健康産業
    - ・健康、医療ツーリズム、医療機器を含めた総合的な医療健康産業の集積
  - (2)観光産業
    - ・地域の良さ、売りは意外と認識されていないため、外の意見を取り入れる。
    - ・長野の強みである、野菜、果物、蕎麦などの食を売り出す。
    - ・点在する観光地を線で結ぶ方策
- 2 シニア層が鍵
  - ・シニア層の知識、技術を活用する仕組みづくり
  - ・シニア層をターゲットにした観光キャンペーン
- 3 移住者を増やす
  - ・自然環境を全面に売り出し移住者を増やす。  
南信地域ではリニア中央新幹線開通がチャンス

## 目指す姿

みんなが長生き長野県  
~自分が歳をとってすばらしい自然環境の中で、健康で働きながら生きがいを持って最期を迎える場とする。

子どもからお年寄りまで幸せに暮らせる 自然都市”信州”  
~自然と暮らしながら共生する街。子育てが安心してでき、高齢者も生涯安心して暮らせる街づくり

いつでも わくわく ふるさと信州  
~恵まれた自然と共生する県民。資源を次世代へ引き継ぐ

信州郡雄割拋  
~小さな村や町でも安心して暮らせる地域づくり

## 現状・課題・強み・弱み等

### 自然

- ・海が無い。寒い。雪が多い。トンネルが多い。山間地、山林の管理

### インフラ

- ・北厚南薄。国道、県道が狭い。携帯がつながりにくい。  
東信から諏訪、松本へ行く主要な道路に有料区間がある。平野がない。山ばかり。  
松本空港へいくより羽田空港を使ったツアーのほうが高い。

### 医療

- ・産科医の不足。病院の数、病床の数が少ない。

### 産業

- ・雇用の場が少ない。人口減少。少子高齢化。若者人口が少ない。  
高齢者の住む古い家が多く、災害時に心配

### 教育

- ・大学進学で東京方面へ行き、そのまま就職してしまうので、若い人が県内に残らない。  
教育県と伝わっているが学力が低下している。

### 市町村

- ・市町村合併が進まなかった県であり町村数が多い。市町村の地域的な一体感に乏しい。  
有害鳥獣対策が不十分。観光地の景観への配慮

## 目指す姿を実現するための取組・方策

### 自然の活用

### インフラ整備

### 医療の充実

### 企業誘致

### 4年制大学

### 市町村間の事務の広域化

各項目間を横断した取組・方策が必要。全ての取組の基礎として が重要  
(例)インフラを整備し、企業誘致した結果、雇用が生まれ、医療の充実が求められる、等

## 目指す姿

# 高齢者がいきいきと活躍できる社会

## 現状・課題等

### 少子化

人口減少 過疎化 電車の路線廃止（利用者の減少）

### 高齢化

農家の高齢化 担い手不足 荒廃農地の増加  
病院へかかる高齢者の増加 医療費の増加

### 商店街の衰退

高齢者の買物弱者の増加

超円高による県内経済への打撃

## 取組・方策

高齢化は止めることができない 元気なお年寄りの力を活用しよう！

### 1 高齢者の働く場の創出

#### (1) 高齢者が保育サービスを行う体制を整える

子育て世代の負担の軽減 もう一人子どもを産もう 少子化抑制

#### (2) 定年の延長

高齢者の収入アップ 消費意欲の向上 経済活性化

### 2 高齢者と若者をつなぐ取組

#### (1) 高齢者による若者の指導

・ 高齢者の指導による農業体験

若者が農業にふれるきっかけ 農業の担い手育成

・ 熟練技術者から若者への技術の伝承

#### (2) 働く場所を増やす

・ 自然エネルギー産業の企業誘致

若者の働く場を確保 若者が集まる 地域の活性化

### 3 高齢者の移動手段の確保

#### (1) 公共交通の広域化（1市町村での対策には限界がある）

・ 広域的な交通網の整備

・ 市町村をまたいだデマンドバスの共同運行

高齢者の移動手段の確保 買物弱者の減少

#### (2) 鉄道・バスの路線の維持

高齢者の生きがい創出

健康増進

医療費抑制

## 目指す方向

### 長野県で活躍する人材の育成

## 現状・課題・強み・弱み等

(少子高齢化)

- ・ 生産年齢人口の減少による地域経済の停滞
- ・ 消防団などの地域活動を支える人材の不足
- ・ 年金をはじめとする社会保障費の増加
- ・ 空家の増加

(地域)

- ・ 合併が進まなかった。
- ・ 保健師が不足している地域がある。
- ・ 公共施設の老朽化

(若者)

- ・ 大学の選択肢が少ないため学生が県外へ流出している。
- ・ 働ける場所がない。働くことへの意欲低下

(その他)

- ・ 電力不足

## 目指す姿を実現するための取組・方策

(教育機関等における育成)

- ・ 4年制大学の 신설、長野県の特徴を生かした学科の創設
- ・ ものづくり体験、キャリア教育などを通じて児童生徒の働くことへの意欲を喚起
- ・ 手に職をつけるための職業訓練施設の充実

(働く現場における育成)

- ・ 観光などを含む産業振興による働く場所の提供
- ・ 技能振興、能力開発の支援
- ・ ワークライフバランスの実現
- ・ 技能五輪、アビリンピックの開催

(地域の力の強化)

- ・ 地域コミュニティの形成と連携
- ・ 地域防災体制の強化
- ・ 消防団協力事業所優遇制度の充実(減税など)

(その他)

- ・ 空家対策
- ・ 公共施設の耐震化
- ・ 特区による水力発電を進める。

首都圏にお住まいの長野県で農業を始めたいと考えている皆さんに聞いた

## 長野県の将来ビジョンに対するご意見・ご提言

長野での農業に興味をもたれた経過から・・・

### 長野県のイメージは？

- ・自然が豊かで美しい（北アルプス等の山、川、空気）、平地が少ない。
- ・温泉が豊富
- ・「長野」「信州」の文字や響きにブランドイメージを感じる（北海道、沖縄と同じくらい）。
- ・文化がありオシャレ、ちょっと特別なイメージ
- ・歴史があるものと現代のものとのバランスが良い。
- ・ゆったりとした雰囲気と自然の厳しさが並存している。
- ・（県内で発行されている雑誌を見て）地域の取組に特徴がある。
- ・村社会に暗黙のルールのようなものがある。
- ・生活しやすい（渋滞の少なさ。土地の安さ。首都圏からの距離的、文化的な近さ）。
- ・東京からの交通網が発達していて便利である。
- ・農業が盛ん（果物、レタス）
- ・仕事が少ない。
- ・教育熱心。教育水準がどの程度かわからない。

### 将来こんな長野県になって欲しい！

- ・農業参入に対する障壁がもっと小さくなればいい。
- ・畑をつぶして作った大型店の空き店舗をなんとかして欲しい。
- ・古民家など古いものを再利用し現代的なものと融合させて独自の文化を作って欲しい。
- ・昔ながらの街並みを大切にしてもらいたい（妻籠など）
- ・観光、農業、文化においてよりレベルの高い県になって欲しい。
- ・歴史や文化、観光地の多さ、自然の豊かさなどの信州の良さを維持し、都市圏では達し得ない、その部分での立国を目指して欲しい。
- ・自然を大切にしたい。
- ・行き過ぎた都市化はしないで欲しい。
- ・中央の政治に振り回されない強い県
- ・原子力発電所を造らない。

### こんなことに取り組みれば、よりよい県になるのではないかな。

- ・農作物のブランド化の推進 国内外へのアピールと販路拡大による地域の力の強化
- ・善光寺など古くからの古刹の門前などでの大規模マルシェ、直売所の設置
- ・農業参入に際しての選択肢の充実
- ・耕作放棄地の情報の提供（空き家情報との一元化）
- ・山形県高畠町のような農業が環境を守る取組（有機栽培、耕作放棄地の活用、地産地消）
- ・景観の保護
- ・ヒノキなどの県産材を使った家への支援制度の創設・拡充
- ・信州を効果的に打ち出せるようなイメージ戦略、信州の良さのPR
- ・外国との交流
- ・地域の暗黙のルールについての行政による周知・指導
- ・松本山雅のJリーグ昇格